



兼 東 栄 町 役 場
人 兼 者
行 兼 者
編 兼 者
発 兼 者



八 町 東 栄 橋 市 豊 橋 水
所 印 刷 所

楽しい交歓会

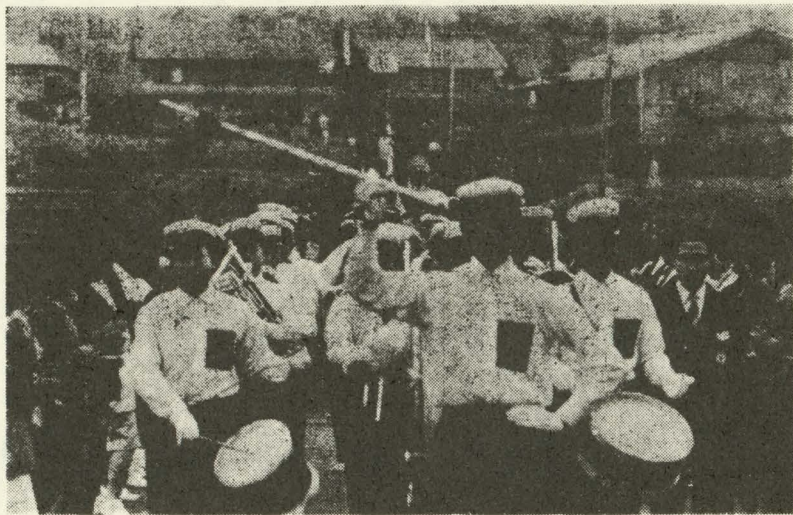
…山の子と都会の子…

愛知県青少年団体連絡協議会主催、愛知県、東栄町後援のもとに山間部の青少年と名古屋市の青少年の交歓会が去る三月二十四・五日の二日間の日程で東栄町大字本郷の旧本郷小学校を会場に実施されました。

旧本郷小学校が愛知県の青少年山のセンターに内定した(中部日本新聞掲載)という話しに端を発したこの交歓会は県青少年団体連絡協議会関係の青少年団として海洋少年団、航空少年団、ガールスカウト、ボーイスカウト、郵便友の会等十六団体約二百七十名とその指導者の方々三十名、東栄町青少年七百余名の参加のもとに盛大に実施されました。

第一日、五台のバスに分乗した名古屋の青少年一行は東栄町青少年の待ちうけるうちに午後五時四十分頃、本郷のカネ石油店横の広場に到着、東部中学校のフラスバンドの歓迎の演奏と拍手の風

の中を伊勢山中学校のフラスバンドを先頭に整然として会場まで約



歓迎を受ける都会の子のパレード (二繼氏提供)

五百米を行進し校庭に整列した中に「よろこ」と原田町長、伊藤議長の挨拶に次いで中央小学の児童の挨拶、伊藤由美子さんから荒川宗三郎会長に花束贈呈、荒川会長の挨拶等があった後に本郷婦人

会の奉仕になるミソ汁に暖をとりながら夕食をすまし夜はキャンピングファイヤーで焚火を囲んで都会の子等の寸劇等を見る中に数発の花火が打ち上げられる等多彩な行事で第一日を終りそれぞれ一般の家庭に分宿し山の第一日を終った。昨夜の寒波も忘れたような暖かい天候となった。第一日、東栄町の青少年達と仲よく手をとりあった名古屋の青少年は午前九時三十分旧本郷小学校校庭に集り伊勢山中学校のフラスバンドを先頭に市中行進に移り方場、戦橋、別所、市場、二又田と町民の拍手に送迎さ

れ交歓会も最高点に達した感があつた。市中行進を終った一行は校庭で各団体別の交歓行事に時を過ごしお別れの式を終え、中在家の方々による「花祭り」を見、県学事課片山課長の挨拶と山の子等の「また来て下さる」の言葉に送られるから帰路についた。このようにして東栄町と名古屋の青少年交歓会も地元各位の皆様方の絶大なるご支援とご協力により無事、盛会裡に終了することができましたことを紙面を通して心より厚くお礼を申し上げます。

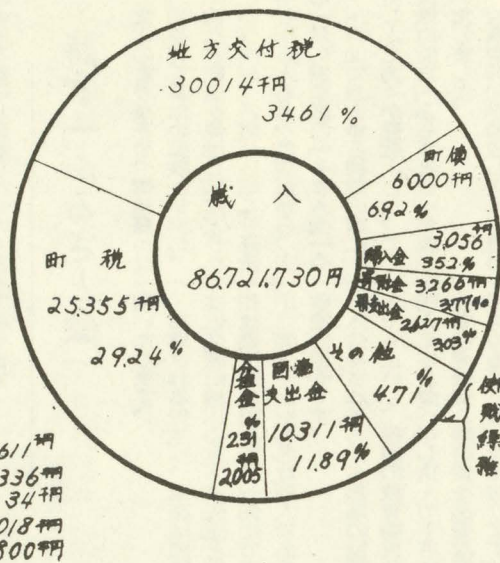
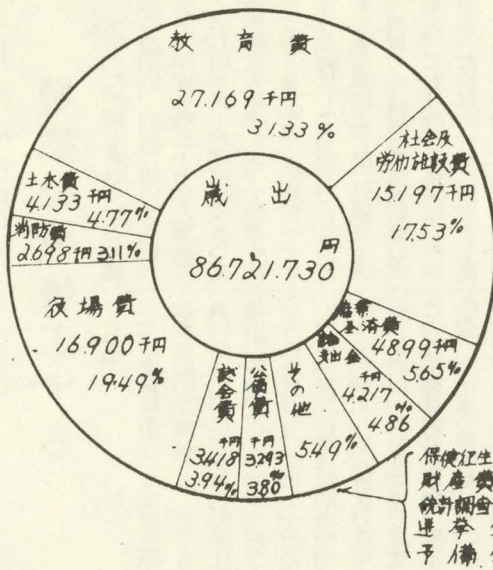
三月の行事

- 一日 国民金融公庫融資調査 振草中学校創立十周年記念式、振草中学校
- 二日 本郷高校卒業式
- 三日 総務委員会、役場
- 五日 選挙管理委員会、役場
- 五日 平沢集団委進行状況調査 県係官
- 六日 起債事務検査、県係官 径口生ボリオワチン投与 (六日、七日)
- 六日 町内土地改良区一般検査 (六日、七日)
- 六日 梅平橋整備工事出展陳情、町道青柳沢線青柳橋しゅん工(災害復旧工事)
- 七日 養蚕振興推進講演会並に映画会 町道西園目坪 沢線道路災
- 一日 国民金融公庫融資調査
- 八日 軍人恩給請求手続打合せ しゅん工(災害復旧工事)
- 九日 中央小学校建築委員会 郡社会教育研究協議会 南北設楽郡農業振興現地指導会、役場
- 十日 国保等級編成審議会、役場
- 十二日 町議会定例会、役場 県移動図書館来町
- 十三日 平沢開拓地和牛指導検査、県係官
- 十四日 簡易放牧場柵杭打作業開始のため設楽事務所係官来町
- 十五日 管内中学校卒業式
- 十六日 花祭りに関する協議会、役場 射撃大会、郡猟友会 豊川用水事業説明会、役場 径口生ボリオワチン投与
- 十七日 東部中学校築業工事しゅん工式、東部中学校
- 十八日 青少年交歓会打合せ、役場
- 十九日 教育委員会、役場 婦人会反省会、役場 町会計監査、役場
- 二十日 小学校卒業式(管内全校)
- 二十一日 佐久間町民謡大会「設楽さんさ」参加
- 二十一日 管内教頭会、役場
- 二十三日 生活保護法による指導検査
- 二十三日 青少年交歓打合せ会 総務委員会、役場
- 二十四日 平沢開拓地委園造成事業調査、県係官
- 二十五日 青少年交歓会(二十四日、二十五日)
- 二十五日 ふるさと会、東部中学校
- 二十六日 婦人会総会、東部中学校
- 二十七日 家畜共済保険引受検査、県係官
- 二十八日 山村試験地拡充移転打合せ 豊川分場係員外来町
- 二十八日 商工会役員会、役場
- 二十九日 農業共済事業事務検査、役場 農地生前贈与及び農地差金調査、県係官
- 二十九日 管内校長会、役場
- 三十日 町議会臨時会、役場
- 三十一日 未亡人役員会、役場 農業労働力調整協議会、役場 富農指導会、振草農協 体育指導会、役場 慰霊祭、足込地区

昭和37年度東栄町普通会計歳入歳出予算

歳 入		歳 出	
科 目	予 算 額	科 目	予 算 額
①町 税	25,354,900	1 公営住宅建設事業債	3,500,000
1 町 民 税	4,295,200	2 中央小学校建築事業債	2,500,000
2 固定資産税	12,691,200	⑫繰 入 金	3,056,400
3 軽自動車税	1,005,500	1 本郷財産区会計繰入金	3,056,400
4 たばこ消費税	3,012,000		
5 電気ガス税	1,590,000	歳 入 合 計	86,712,730
6 木材引取税	2,700,000		
7 犬 税	61,000		
②地方交付税	30,014,084	⑬ 会 費	3,418,133
③公営企業及財産収入	6,624	⑭役 場 費	16,899,513
④分担金及負担金	2,005,000	1 役場職員費	16,093,313
⑤使用料及手数料	1,479,800	2 営 繕 費	680,000
1 使 用 料	200,300	3 諸 費	126,200
2 戸籍手数料	120,000	⑮消 防 費	2,697,800
3 家畜管理所手数料	665,000	1 消 防 費	2,554,980
4 その他手数料	494,500	2 営 繕 費	142,820
⑥国庫支出金	10,311,200	⑯土 木 費	4,133,000
1 国庫負担金	1,894,400	1 道路橋梁費	3,230,000
保育所関係負担金	1,086,400	2 災害土木費	340,000
国民年金負担金	348,000	3 道路開発促進費	493,000
教育関係負担金	460,000	4 その他土木費	70,000
2 国庫補助金	8,406,800	⑰教 育 費	27,168,501
教育関係補助金	3,266,800	1 教育委員会費	3,024,111
消防費補助金	180,000	2 小 学 校 費	6,490,680
公営住宅建設補助金	4,960,000	月 小 学 校	573,540
3 国庫委託金	10,000	中設楽小学校	663,140
⑦県支出金	2,627,102	中央小学校	949,340
1 県負担金	456,802	下川小学校	736,580
保育所関係負担金	135,800	御園小学校	458,440
保健衛生費負担金	305,922	足込小学校	446,540
その他負担金	15,080	東蘭目小学校	396,440
2 県補助金	1,320,000	奈根小学校	667,140
農業委員会補助金	200,000	粟代小学校	605,840
土木費補助金	815,000	古戸小学校	570,140
勸業関係補助金	305,000	小林小学校	423,540
3 県委託金	850,300	3 中 学 校 費	2,631,160
徴税委託金	157,000	東部中学校	1,299,180
統計事務委託金	16,900	全御園分校	202,000
選挙委託金	650,000	三輪中学校	499,840
その他委託金	26,400	振草中学校	630,140
⑧寄 附 金	3,265,620	4 社会教育費	1,487,500
1 土木費寄附金	874,000	5 小中学校施設充実費	1,093,550
2 消防費寄附金	520,000	6 保健衛生費	98,000
3 公営住宅建設寄附金	1,280,000	7 学校問題協議会費	40,000
4 小中学校施設費整備寄附金	259,560	8 中央小学校建設費	10,261,000
5 その他寄附金	272,060	9 東部中学校増築費	2,042,500
⑨繰 越 金	1,010,000	⑱社会及労働施設費	15,197,705
⑩雑 収 入	1,591,000	1 児童福祉措置費	7,700
1 雑 入	1,241,000	2 保育園運営費	63,000
2 過年度収入	350,000	3 本郷保育園費	1,025,275
⑪町 債	6,000,000	4 下川保育園費	857,150
		5 御殿保育園費	791,150
		6 三輪保育園費	1,076,480
		7 職業補導費	15,000
		8 社会福祉費	532,580
		9 住宅管理費	87,000
		10 外国人登録事務費	21,000
		11 国民年金費	651,350
		12 行路病人取扱事務費	10,000
		13 町営住宅建設費	10,060,000
		⑰保健衛生費	1,611,200
		1 委員会費	119,000
		2 伝染病予防費	450,000
		3 結核予防費	350,000
		4 環境衛生費	544,500
		5 寄生虫駆除費	77,000
		6 母子衛生費	69,900
		⑱産業経済費	4,898,550
		1 農業委員会費	1,158,305
		2 勸業費	1,779,800
		3 農業構造対策費	670,000
		4 観光費	224,000
		5 家畜管理所費	852,945
		6 病虫害防除対策費	10,000
		7 耕地事業費	100,000
		8 農地開発対策費	103,500
		⑲財 産 費	1,335,777
		1 基本財産造成費	1,064,277
		2 財産管理費	271,500
		⑳統計調査費	34,000
		㉑選 挙 費	1,018,240
		1 選挙管理委員会費	337,740
		2 公明選挙常時啓発費	30,540
		3 参議院議員選挙費	350,000
		4 県知事選挙費	300,000
		㉒公 債 費	3,292,331
		1 元利償還金	3,042,331
		2 一時借入金利子	250,000
		㉓諸 支 出 金	4,216,980
		1 徴 税 費	583,500
		2 固定資産評価費	22,000
		3 繰 出 金	1,200,000
		4 地区行政費	861,000
		5 監 査 費	30,000
		6 公 安 費	190,480
		7 広 報 費	158,000
		8 文化財保護費	20,000
		9 負 担 金	915,000
		10 過年度支出	162,000
		11 雑 支 出	75,000
		㉔予 備 費	800,000
		歳 出 合 計	86,721,730

附記。本予算額は一般会計、中央小学校建設会計東部中学校増築会計の合計額である



最近における農業およびこれをめぐる条件の変化に際し、農業の近代化が強く要請されているが、このためには農業構造の改善が重要な課題としてとり上げられている。なかでも農村における過剰就業労働力の劣弱化等の現状に鑑み、就業構造の改善を図ることが最も基本的な問題である。

東栄町農業労働力調整協議会設置される

この協議会は、事業の適正な推進をはかるため次のような事項をその地域の特殊性を考慮し、それぞれの実情に即して行う。

- 1、労働力の需要および供給事情に関する資料および情報の蒐集ならびに意見の交換
- 2、農家世帯員のうち就職、転職、追加就業を促進するための方策に関する連絡および協議
- 3、農業労働の合理化による就業構造改善方策の検討
- 4、農村における雇用機会を増大するための方策に関する連絡および協議
- 5、他産業への就職者の雇用条件の改善に関する連絡および協議

昭和37年度東栄町国民健康保険特別会計事業勘定歳入歳出予算

歳 出		予 算 額	構 成 費
1	国民健康保険料	11,600,000	54.48
2	一部負担金	100,000	0.47
3	使用料及び手数料	4,800	0.02
4	国庫支出金	8,490,330	39.87
5	県費補助金	85,450	0.40
6	繰入金	1,000,000	4.70
7	繰越金	10,000	0.05
8	雑収入	2,100	0.01
計		21,292,680	100.00

歳 出		予 算 額	構 成 費
1	役場費	1,445,780	6.79
2	保険給付費	19,240,500	90.36
3	保健施設費	100,000	0.47
4	諸支出金	374,670	1.76
5	予備費	131,730	0.62
計		21,292,680	100.00

国民健康保険料賦課について

昭和三十七年度

△賦課基準並に賦課額

一、賦課総額一、五〇〇、〇〇〇円

二、被保険者均等割額一〇%、一、〇〇〇、〇〇〇円

三、世帯平等割額一七%、一、九五〇、〇〇〇円

四、保険料率

一、資力割額、課率一口当り一円六十五銭を個々の課率に乗じた額

二、被保険者均等割額、一人当り三〇〇円(月当り二十五円)

三、世帯平等割額、二世帯当り一、二〇〇円(月当り一〇〇円)

右の通り国民健康保険料の算定基準が決定いたしましたから、この基準により昭和三十七年度分保険料の算出を行い個々の国保加入世帯に賦課いたし保険料令書を四月十六日に発送いたしましたから国保の趣旨をおくみ通りの上納されるようよろしくお願いいたします。なお人員等に不審な場合は役場国保係宛御連絡下さる。

8、労働行政機関との連絡および協調

- 9、その他農業就業構造の改善に関する調査および審議
この協議会の委員に左の方々が委嘱されました。
- 記
- 農業委員長 原田 政久
 - 町関係 伊藤 政市
 - 農委関係 伊藤 政市
 - 教育関係 原田 守一
 - 教育関係 伊藤 梁一
 - 教育関係 佐々木 武夫
 - 教育関係 村松 義男
 - 農工関係 内藤 廉一郎
 - 企業関係 熊谷 量市
 - 学識経験者 伊藤 豊太郎
 - 伊藤 保市



国民健康保険の諸届出の履行についてお願い

このことにつきましてはまだ一部の方に届出を履行しない方がありまますから、今後よろしくご協力をお願いいたします。

一、資格取得

当町に新たに住所を有した方及び他の社会保険の資格を喪失した方は速やかに印鑑持参届け出て下さい。また出生した方も右に同様です。

二、資格喪失

当町よりの住所を転出される方は保険証返か印鑑持参の上届け出て下さい。他の社会保険の資格を取得した方は速やかに社会保険の保険証を提示印鑑持参の上届け出て下さい。保険証の提示がありませんと受け付けることは出来ませんから予め承知下さい。また死亡した場合も保険証提示の上訂正をうけて下さい。印鑑持参のこと。

三、助産費

当町の国保加入世帯で出生した方がありましたら助産費として金一、〇〇〇円支給いたしますから印鑑と被保険者証を持参して下さい。

四、葬祭費

当町の国保加入世帯で死亡した方がありましたら葬祭費として金一、〇〇〇円支給いたしますから印鑑と被保険者証を持参して下さい。

国民健康保険、保険料増徴について

右のことにつき昭和三十七年度分より保険料が前年度に比し二一%増額し徴収いたしたいと思っております。このことにつきましては皆方御承知の如く、テレビ、ラジオ、新聞にてPRして頂いた医療費の値上げ、新薬または高価薬の保険適用、受診率の向上等で現行の保険料では各お医者さんに支払いが困難になりましたので、今年度より二一%増額させて頂きたく思います。よろしくお願ひいたします。

保険料督促手数料

延滞金について

このことについては当町国民健康保険は来る昭和三十七年度(昭和三十七年四月一日)分より保険料の滞納者について督促状を送送することになりましたから、滞納されないよう各人共完納に努力して下さい。なお督促状を送り指定期日までに納入がない場合は延滞金を徴収することになりましたから、よろしく完納に御協力下さい。

保険料完納報償金について

昭和三十六年度分の保険料を五月三十一日までに完納された組に本年も報償金が交付されますから滞納している方は御都合され右期間までに納入して下さい。なお報償金交付基準は左の通りであります。

記

- 一、世帯割、一世帯当り五〇〇円
- 二、均等割、一組当り五〇〇円
- 三、保険料割、調定総額の百分の一組単位に七月頃交付する予定

議会報告

定例会

三月十二日議定会定例会を開催し昭和三十七年度一般会計歳入歳出予算外各特別会計予算十五件、予算関係条例改正等九件計二十五件が原案どおり可決された。

議案第六号 東栄町議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の改正(二回)

議案第七号 東栄町特別職の職員で常勤のもの給与および旅費に関する条例の制定について

註 以上二件は町議会議員及び町長、助役、収入役の報酬、給与を昭和三十七年四月一日から改正することを議決

議案第八号 東栄町特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の改正について

弁償に関する条例の改正について

註 選挙管理委員、監査委員等町の非常勤特別職の費用弁償額を改正した。

議案第九号 東栄町スポーツ振興審議会に関する条例制定について

議案第十号 昭和三十七年度一般会計歳入歳出予算以下第二十八号まで昭和三十七年度特別会計歳入歳出予算及び関連議案(別項参照)

議案第二十九号 農業用施設災害復旧工事施行について

註 大字下田地内頭首工災害復旧工事(国庫補助事業)

議案第三十号 単農土地改良事業施行について

註 大字下田字追分地内大字振草字小林村栗地内用水路改修工事二ヶ所単独農事業

臨時会

三月十九日午前七時東栄町議会議事室が役場会議室で開催され議決された事項は次の通りであります。

議案第三十一号 昭和三十六年度東栄町一般会計歳入歳出追加更正予算について

註 昭和三十六年度一般会計最終予算額が八三、七〇五、四〇六円となりました。

議案第三十二号 第四十三号昭和三十六年度国民健康保険事業云

計、各病院診療施設勘定、本郷簡易水道、農業共済事業、中央小学校建設、東部中学校増築、本郷財産区、三輪財産区、振草財産区各会計の最終追加更正予算案を議決

議案第四十三号 東栄町国民健康保険保険料賦課基準資力等級決定について

註 国民健康保険料の基礎となる資力等級表を決定

議案第四十四号 寄附採納について

註 土木費地元寄附等十一件採納議決

議案第四十五号 東栄町火災予防条例制定について

註 消防法の規定に基づいて東栄町における火災予防上必要な事項を定めた

議案第四十六号 東栄町農業共済事業起債について

註 東部中学校増築事業債百万円、中央小学校新築債六百万円の起債を議決

議案第四十七号 東栄町地元産業振興融資基金について

註 東栄町農業共済事業の農作物共済掛金の国庫負担額が増額され加入者負担が減額された。

議案第四十八号 東部中学校増築事業起債について

議案第四十九号 中央小学校新築事業起債について

第二回北設楽郡畜産共進会

東栄町が総合優勝

第一回北設楽郡畜産共進会が去る四月五日設楽町に於て開催された。この共進会は県内産の和牛と種兎、鶏卵の三部に別れ、県山岳種畜育成場長神谷技師並に県畜産課係官等の厳正なる審査が行われた。結果東栄町から出場した家畜が多数入賞し総合優勝の栄に輝いた。

なお、本共進会において次の各氏飼育の家畜が入賞した。

一等	和牛(未經産)
一等	伊藤 真(布川)
一等	伊藤 猪陸(古戸)
一等	伊藤 逸雄(中設楽)
二等	金田 治重(月)
二等	原田 价(月)
二等	丸山 富三(下栗代)
二等	和牛(経産)
三等	花田 利夫(月)
三等	松山 学治(月)
三等	金田道太郎(月)
一部	種兎

- 優等 川根 唯夫(本郷)
 一等 内藤なかの(小林)
 〃 原田 祐治(月)
 一等 熊谷 巳良(柿野)
 〃 山本 進一(柿野)
- 三等 伊藤 信枝(小林)
 三等 鷗野
 一等 松久保種鶏場
 二等 〃
 三等 山田 政衛(下田)

昭和三十六年度日本消防協会

定例表彰について

昭和三十六年度、定例表彰式ならびに表彰伝達式が去る昭和三十七年三月三十日に愛知県市町村会館で挙行されました。

この日の式において東栄町消防団の杉平忠雄団長は日本消防協会功績章を受賞しました。

農事メモ

(1) 畑苗代の管理

東栄町における畑苗代は、七〇%の普及率に達し、健苗育成により、年々安全増収が得られることは大変喜ばしいことではありますが、何事もその事になるに従い、心の油断から思わぬ失敗を来すことがありますので、過去三ヶ年において、特に失敗した点を述べますと、まず播種から発芽までに、C四〇度以上の高温のため、糊種がやけて、発芽不良におちいったことが、しばしばありますので、好天氣の日中には時々検温して、四〇度以上の場合は必ずむしろをか、珪をかけて下さい。次に発芽揃い以後においては、珪は絶対に

(2) 麦作管理

本年は冬期間降雨が少なかったため、土中養分の流失も少く、この頃一雨毎に、葉色を増し、軟弱気味の麦も往々見受けられますので、こうした麦は思切つて、土入を行つて茎を強剛にして下さい。病氣は目下ビール麦に葉枯病が、所々に発

生しておりませんが、適確な防除法がありません。四月下旬〜五月上旬にかけて、軟弱気味の麦には「うどんこ病」「さび病」が発生したり又出穂期に雨が多いと、赤かび病の発生がありますので、石灰硫黄合剤の五〇倍液を噴霧機で散布して下さい。

(3) 夏野菜育苗

茄子、胡瓜、南瓜、とまと、ピーマン等々をこの頃ビニール育苗して、早くから収穫を計る農家が多くなりましたが、品質のよいのを多収するには、育苗良否にありますので、管理に充分注意して強い苗を育て、五月上旬頃晩霜の心配がなくなつてから、本圃に定植して、肥培管理を合理的に行ひ、家庭菜園の実績を上げて下さい。

(愛知県東栄農業改良普及所)

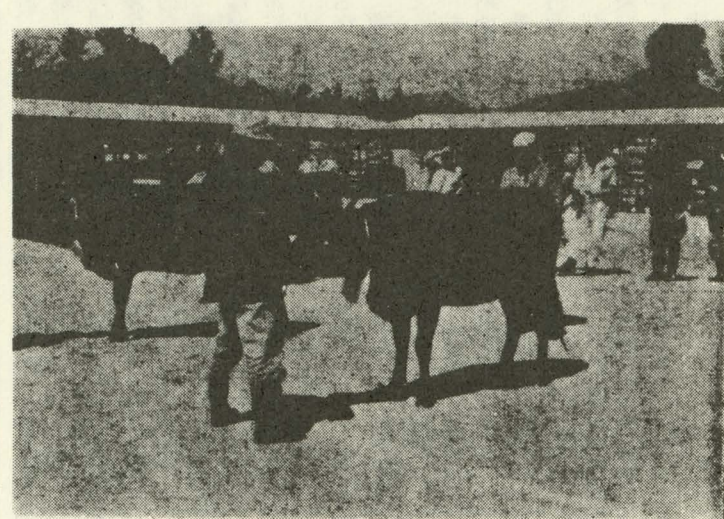
教職員人事異動

昭和三十七年四月一日付をもって教職員の人事異動が発令されました。

東栄町の関係分は次の通りであります。

- 校長の部
 愛知県教育委員会指導部
 保健厚生課 青木 祥八
 (旧足込小長)
 東栄町立足込小学校長 龜山 正夫
 (月小長)
 全 月小学校長

教頭の部	原田 和雄 (坂手場小長)
中設業小学校	高橋 喜治
小林小学校	佐々木 諄
教員の部(新任)	
古戸小学校	浅井 利貴
東部中学校	佐野 弘三
全	畑田 芳夫
振草中学校	村松 壽雄
転任	
月小学校	相馬 由弘
中央小学校	(古戸小)
中設業小学校	金子伊三雄
	(小林小)
下川小学校	内藤 謙吉
	(足込小)
足込小学校	森下 武之
	(中設業小)
東園目小学校	村田きみゑ
	(下川小)
奈根小学校	伊藤 正子
	(黒川小)
古戸小学校	岩瀬 充信
	(小田木小)
全	伊藤 薫
小林小学校	(小林小)
	小林 蛟
	(御園小)
東部中学校	内藤 雅計
	(古戸小)
全	鈴木 安代
	(清瀬中)
	鈴木 昭吾
	(富山中)
全	牧野 幸子
	(津具中)



郡畜産共進会審査風景

町外転出者	高木 昭人 (津具中)	金田 久人 (三輪中より)
(東部中より)	梶田不天 (津具中)	夏目 勉 (振草中)
三輪中学校	山口まさ子 (田峯小)	川崎 幹夫 (月小より)
全	竹内 弘 (静岡県)	三浦 泰 (中設業小)
振草中学校	伊藤 英男 (東部中)	後藤 登夫 (中央小)
全	伊藤 元 (三輪中)	夏目 哲夫 (足込小より)
		原田千代香 (東園目小)
		秦野 正巳 (奈根小)
		細井 利之 (古戸小)
高校教員に任用者	山下勝三郎 佐々木淳江 井上 義雄	新田 武 三浦 敏雄
本郷高等学校	退職者	伊藤 秀雄
東園目小学校	山本 院子	細井みわ子

東部中学校

増築校舎竣工する

全国的な問題とされている生徒数の増加は、当校に於いても昭和三十六年度から三十七年と急激に上昇し昭和三十六年度は辛うじて特別教室の転用によって授業を行って参りましたが、昭和三十七年度は如何にしても収容できないため掲載写真のような二階建て七三・五坪の木造建一教室を新築しました。これは昨年八月多年の懸案であった校庭の一角に鎮座する庚申堂を附近の他地区へ移転し、その後地を買収し建設したものであります。

この建設にあたっては庚申様崇敬者各位のご理解と、PTA全員の敷地工事に対する勤労奉仕等特別の協力を頂き、同年八月三十日入札を施行し、三百九十五万円に伊藤寿美氏に請負契約を締結、本年三月竣工し新年度より使用することになったものであります。この総工費は附帯工事費、敷地買収費、庚申堂の移転費、その他諸経費を含めて五百三十余万円掛っております。

詩歌「ふるさと会」

文化の香りを高め、情緒豊かな人柄を育てるため短歌とか俳句、川柳など歌道を奨励してはどうかという声が、各所から起り直接申し出る人もあった現況から、去る一月に振草区の「そま人会」や下川方面で過去から詩歌の道に、そして方々が発起人となって、東栄町詩歌「ふるさと会」が誕生いたしました。

短歌や俳句を勉強しようと思われ方は、どうも会員になってこの道の発展を図り、自己の品格を高めるようにおつき下さい。

作品は四月は俳句、五月は短歌といつように奇数の月は俳句、偶数の月は短歌を募集し、歌会を開催いたします。

この建設にあたっては庚申様崇敬者各位のご理解と、PTA全員の敷地工事に対する勤労奉仕等特別の協力を頂き、同年八月三十日入札を施行し、三百九十五万円に伊藤寿美氏に請負契約を締結、本年三月竣工し新年度より使用することになったものであります。この総工費は附帯工事費、敷地買収費、庚申堂の移転費、その他諸経費を含めて五百三十余万円掛っております。

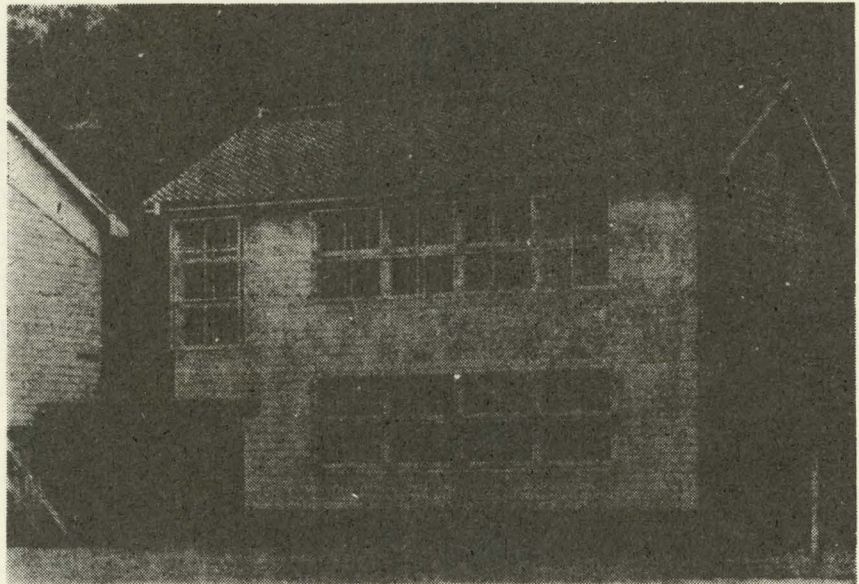
催いたします。

指導される先生は、現在は短歌は佐久間町浦川の宮下茂先生と俳句は豊川市の加藤吾一先生ですが、両先生とも有名な詩人であり歌壇の選者です。

入会をされる方は各部落の世話人でもよいし、役場の教育委員会内ふるさと会へ申し込んで下さい。会費は通信費と諸雑費を必要と都度集めることになっております。

現在百名近い会員ですが作品は毎回二百以上集まっております。かなりの立派な作品も生れと先生が申されております。初めて歌を勉強しようとして入られた方や、又ずいぶん古くからの歌人もある

しゅん工した東部中学校校舎



ようですが、歌会に出ると同人という気分がただよって、他の社会ではみられない、親しみと睡まじさととけこんで歌の国ユートピアのようです。



災害見舞金を

寄附

本郷在住の岡本義隆さんは、昨年の第一室戸台風による災害見舞金を「私がいたたくより学校等の何かの用立に……」と寄附の申出があり早速中央小学校にこの旨連絡、現金を渡しました。

東栄町歌壇

(入選作品)

短歌

(天) 山羊ひきし祖父の後よりついて行く

(童子) 吾子の帽子赤きが目立つ

(地) 気のふれし娘の余念なく髪すける

(力) 縁に冬日の静けきかもよ

(人) 砂利を採る人影消えて枯苔に

(均生) 川鳥一羽飛んで昏れ行く

(小梅) 牛引きて毛ぐし持ちたる我が子見

(静) てわれふけたりとつくづく想う

(静) 祭りごと簡素にするを老い母は

(静) ものたりなげに昔語りぬ

(静) 幾年か新生活をいながら昔のし

(静) きたり捨てがたくして

(静) 夜の雪明けて樹木の輝けり

(静) さんご樹のごとみな凍りつきて

(かよ) ふる里の捨てがたき味豆もちの味

(静) をかみしめ子等と語らう

(れい) 川端の梅の蕾もふくらみて春のお

(童子) とすれま近におぼゆ

(童子) 氷片を持ちて喜ぶ幼な子は素足に

(童子) 下駄をつっ、かけたまま

(童子) 何かの用立に……」と寄附の申

(童子) 出があり早速中央小学校にこの旨

(童子) 連絡、現金を渡しました。

片言の子に約束のチョコレート与えて残る麦ふみをする (均生)

黙しつ新負い下る荷に髪に用捨なく降る大粒の雪 (暎子)

湯水に池のたまりも枯れ果てて今日も死にゆく金魚やあわれ (源三郎)

霜どけの麦の葉末の露の玉は動くもなし光りつつゆれる (むつみ)

後を追う子を抱きて幾度か庭を歩けば朝日まぶしく (芳子)

逝きし母何か語りておやすなり埋れる土の動きてきこゆ (力)

霜のまだとけぬ静けさ独りごとしつ児の行く学芸会の朝 (素秀)

笑みおれどなお彫り深き翁面 (深山)

鬼いでて厳冬の空白み来る (瓢山)

冬の川雑魚に静かな動きあり (深山)

冬の川真中に砂が乾きいる (水仙)

天がすがかり火に映ゆ鬼の面 (ひろみ)

滝水を祭る霜夜の花祭の (瓢山)

花祭り舞を押えて鬼笑う